

第11回

十勝川中流部川づくり報告会

平成29年10月21日
十勝川中流部市民協働会議

今年度の活動と現況

平成29年10月21日
十勝川中流部市民協働会議

平成29年度（4月～8月）活動内容一覧

No	日程	内容	場所	参加
1	H29.5.16	・帯広工業高校1年生 学習会 札内川懇談会サポート	・帯広工業高校	・事務局:9名 ・帯広工業高校1年生:37名 合計46名
2	H29.5.26	・第37回事務局会議	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:13名 ・開発局:3名 合計16名
3	H29.6.7	・帯広工業高校2年生 帯広川右岸被災箇所の 播種作業	・札内川 親水公園付近	・事務局:12名 ・開発局:3名 ・帯広工業高校2年生:35名 合計50名
4	H29.6.12	・帯広工業高校3年生 防災授業	・帯広工業高校	・事務局:5名 ・開発局:1名 ・帯広建設管理部:1名 ・帯広市役所:1名 ・帯広工業高校3年生:40名 合計48名
5	H29.6.27	・帯広工業高校1年生 測量 札内川懇談会サポート	・札内川 中札内橋上流	・事務局:9名 ・帯広工業高校1年生:35名 合計44名
6	H29.7.7	・「たなばタイム 水辺で乾杯 」 ・第38回事務局会議	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:12名 ・開発局他:11名 ・十勝多自然ネット:1名 ・一般参加:3名 合計27名
7	H29.7.22	・帯広農業高校 夏季 魚類調査 サポート	・相生中島上流湿地	・事務局:8名 ・アークコーポレーション:11名 ・帯広農業高校生:24名 教諭:1名 ・開発局:5名 合計49名
8	H29.8.6	・ 伝馬船 レースサポート	・札内川 親水公園	・事務局:10名 ・開発局:3名 参加者合計34名

平成29年度（8月～9月）活動内容一覧

No	日程	内容	場所	参加
9	H29.8.7	・帯広工業高校3年生 流木調査	・光南水辺の楽校	・事務局:7名 ・帯広工業高校3年生:3名 教諭:1名 ・帯広開発局:4名 合計15名
10	H29.8.9	・第39回事務局会議	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:15名 ・開発局:1名 合計16名
11	H29.8.19	・帯広工業高校3年生 流木調査	・光南水辺の楽校	・事務局:2名 ・帯広工業高校3年生:3名 教諭:1名 合計6名
12	H29.8.30	・西21新興町内会 水害避難訓練	・西10号会館 ・開西小学校	・新興町内会:28名 ・開発局他
13	H29.9.4	・帯広工業高校3年生 防災授業	・帯広工業高校 ・途別川 千住12号橋	・事務局:6名 ・開発局:2名 ・北開水工コンサルタント:9名 合計17名
14	H29.9.9 9.10	・「第10回 いい川・いい川づくりワーク ショップ in 九州」	・福岡県 福岡大学	・事務局:2名
15	H29.9.16	・帯広工業高校3年生 流木調査	・光南水辺の楽校	・事務局:5名 ・帯広工業高校3年生:3名 教諭:1名 合計9名
16	H29.9.19	・第40回事務局会議	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:2名 ・開発局:名 合計名
17	H29.9.21	・帯広工業高校2年生 帯広川右岸被災箇所 の播種箇所の追 跡調査	・札内川 親水公園付近	・事務局:10名 ・開発局:4名 ・帯広工業高校1年生:40名 合計54名
18	H29.9.26	・帯広工業高校1年生 測量 札内川懇談会サポート	・札内川 中札内橋上流	・事務局:9名 ・開発局:1名 ・帯広工業高校1年生:37名 合計47名

2017. 5. 16 札内川自然再生事業の事前学習

(帯広工業高校1年生37名、事務局他9名)

- 次回の現地学習を行うにあたって札内川の生物や歴史、現地作業内容について授業を行った。



札内川の歴史



札内川の魚類説明



絶滅危惧種について



自然再生モニタリング説明



測量作業説明



授業風景

2017. 6. 7 帯広川被災箇所への整地及び播種作業

(帯広工業高校1年生35名、事務局他15名)

- 午後から帯工2年生が作業できるように、午前中にバックホウとブルで洪水後に堆積した土砂や流木を整地し、クサヨシとコスモスを播種できるようにした。帯工生との作業終了後、カヌー・ボート昇降場を設置するため洪水で被害を受けた箇所にバックホウで整形を行った。



整地状況



整地状況



整地後の状況

2017. 6. 7 帯広川被災箇所の整地及び播種作業

(帯広工業高校1年生35名、事務局他15名)

- 午後は帯工2年生と、整地した所に10m×10mの間隔で延長320m、面積3200m²の測量を行い、一人ずつ決められた範囲（クサヨシ10m×10m、コスモス10m×2m）に播種を行った。



作業開始前の説明



測量作業前の説明



測量作業



クサヨシ播種作業



コスモス播種作業



播種作業後の状況

2017. 6. 12 帯広工業高校3年生 防災授業

(帯広工業高校3年生40名、事務局他8名)

- 帯広工業高校で地域防災活動として講師を招き防災授業を行った。



帯広開発建設部治水課：天羽専門官
○平成28年度の台風被災状況や自助・共助について



帯広建設管理部治水課：佐々木主査
○土砂災害の起こりやすい対象地域と土砂災害警戒情報の入手の仕方について



十勝川中流部市民協働会議：和田哲也
○地域防災システムについて

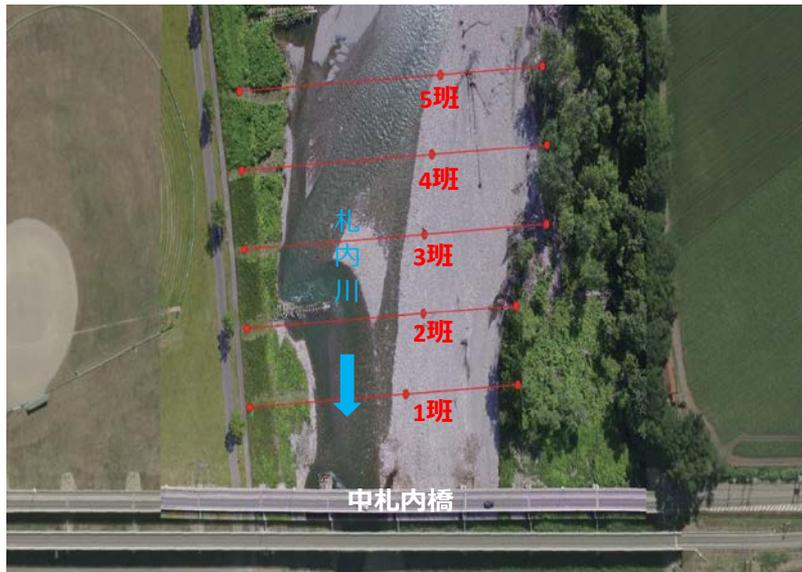


帯広市役所総務課：牧野主任補
○水害対策と自助・共助を通じて帯広市の取り組みや反省点を踏まえ防災への備えについて

2017. 6. 27 札内川懇談会自然再生モニタリング サポート

(帯広工業高校1年生35名、事務局他9名)

- 昨年度の洪水の影響で札内川ダムから放流が中止となったが、今回は夏季に発生が予想される出水の影響に伴う地形の変化（河床の変化）を把握することを目的として、札内川自然再生のモニタリングのための測量（午前）を行った。午後からは中札内橋下流部の三番川沿いに生育する樹木について学習した。



横断測量箇所



横断測量状況



樹高計測状況



樹木の葉探し



収集した葉について説明

2017.7.7 たなばタイム

(事務局他27名)

- かつての賑わいを失ってしまった“日本の水辺”の新しい活用の可能性を、水辺に関心のある人と創造していくというプロジェクト『ミズベリング・プロジェクト』である、『たなばタイム』 水辺で乾杯に今年もこのイベントに参加した。



夕焼けに色づく十勝大橋を背景に「水辺で乾杯！」



並ばれた料理

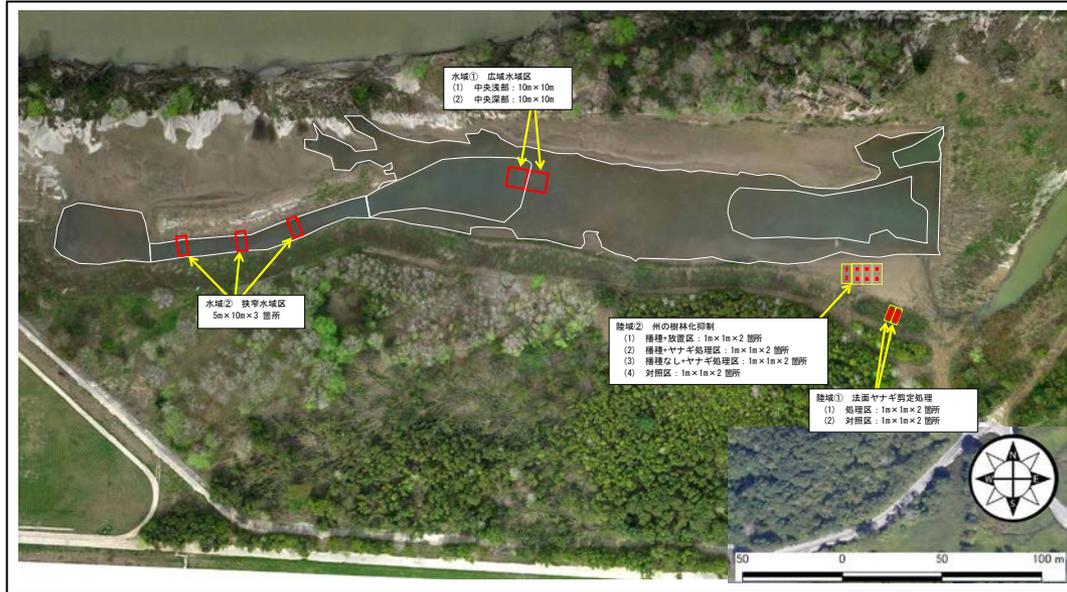


料理を囲んで楽しむ参加者

2017. 7. 22 帯広農業高校による夏季魚類調査サポート

(帯広農業高校生24名、事務局他25名)

- アークコーポレーションの指導の下、洪水後に土砂堆積した箇所でのヤナギの方形区調査 (1×1 m) と魚類調査を行った。



調査箇所



樹高計測



胸高直径計測



ヤナギの本数計測

2017. 8. 6 伝馬船レース大会in帯広の参加及びサポート

(参加者21名、事務局他13名)

- 帯広NP028サポートセンター主催の伝馬船レースへ参加し運営等のサポートをした。伝馬船レース終了後は参加者と魚類調査を行った



採取状況



伝馬船レース状況



集合写真



同定作業状況

2017. 8. 7・19 帯広工業高校 流木調査

- 昨年度の洪水で発生した流木と生木を準備して砂利上・土の上・空中の3つの環境設けて、腐朽速度に変化があるかを調査を行った。これら、継続的な調査によって、流木が腐朽（朽ちる）し、土に戻るまでの様子を記録することで、将来の河川維持管理に役立てられる貴重な資料になるものと考え、この活動を支援していく。

流木調査により得られるデータ

- ①時間の経過に伴い、木材（流木と伐採木）腐朽の進行
- ②木材の水分量（含水比）と木材硬度の関係
- ③木材の放置環境の違いによる腐朽速度



含水率計測状況



硬度計測状況



各環境設置状況

2017. 8. 30 町内会 防災訓練サポート

(西21新興町内会28名、事務局他)

- 昨年に引き続き西21新興町内会の防災訓練をサポートした。訓練の際、支援者救出に伊豆倉組、訓練終了後に帯広開発建設部治水課・帯広建設管理部治水課・帯広市役所総務課から講評を頂いた。



① 防災メール受信
(14:15)



③ 避難弱者救出
(14:50)



④ 開西小学校避難
(15:00)



② 避難指示
(14:30)



④ 避難勧告発令
(15:00)

訓練終了後の自治体の方々による講評



帯広開発建設治水課



帯広建設管理部治水課



帯広市役所総務課

2017. 9. 4 帯広工業高校3年生 防災授業

(帯広工業高校3生40名、事務局他10名)

- 途別川下流部KP2. 6付近において横断測量と流速を測定することで、H-Q式に必要な流量を求める方法を学習した。

○1時間目に現場での作業内容及びH-Q式の詳しい説明を受けた。



現場での作業内容説明



授業状況



現地調査箇所

2017. 9. 4 帯広工業高校3年生 防災授業

(帯広工業高校3生40名、事務局他10名)

○現地では、横断測量・水深流速計測・浮子の測定を行い、午後からは工業高校で現地作業で得た測定結果を踏まえ、流下した途別川の断面積の計算と、流速から各部の流量を求め、途別川当日の流量を計算した。



横断測量



水深・流速計測



水深・流速計測



流量計算前の説明



流量計算



帯広開発建設部治水課の講評

2017. 9. 9～10

「第10回 いい川・いい川づくりワークショップ in 九州

(事務局2名)

- 今年度は福岡県福岡大学で開催されました。グランプリまでとはいきませんでしたでしたが事務局長の奮闘で準グランプリを受賞することができた。



1日目：全体発表



1日目：テーブル選考



2日目：最終選考



受賞状況



表彰状

2017. 9. 16 帯広工業高校 流木調査

(帯広工業3年生3名、事務局他4名)

- 8月の流木調査に引続き9月も硬度試験と含水率を測定し、1ヶ月でどれくらい変化があるのか継続して調査を行った。8月と9月の試験結果ではあまり結果は変化はなかった。



土の上設置状況



空中設置状況



砂利上設置状況



硬度計測状況



含水率計測状況



作業終了

2017. 9. 21 帯広川被災箇所での播種後の追跡調査

(帯広工業3年生40名、事務局他14名)

- 6月7日に帯広川被災箇所での播種したクサヨシがどれくらい発芽しているかを把握するために各班で1方形区 (10m×10m) のモニタリングを行った。

○ 1時間目に作業内容とイネ科植物の見分け方を説明した。



調査方法の説明



植物の見分け方の説明



授業風景

2017. 9. 21 帯広川被災箇所への播種後の追跡調査

(帯広工業3年生40名、事務局他14名)

○ 現地では、各班が担当する範囲(50m程度)から代表する方形区(10m×10m)を選び植被率(%)を調べ、さらにその方形区内に1m×1mの方形区を2箇所設け、春に播種したクサヨシの実生を数えて、発芽本数を確認した。



方形区復元状況



植被率の説明



10m×10mの方形区内の植被率調査状況



1m×1mの方形区調査状況



ルーペを使い植物の同定



調査結果の発表

2017. 9. 26 札内川懇談会自然再生モニタリング サポート

(帯広工業高校1年生37名、事務局他10名)

- 1時間目に工業高校で6月27日の横断測量の結果を説明し、中札内橋上流まで移動し測量を行った。早く測量が終了した班だけ方形区調査を行った。



方形区調査状況



座学



横断測量状況



横断測量状況

新聞報道 2 「帯広工業高校関連」

2017年(平成29年)8月24日(土曜日) 十勝毎日新聞



帯工高生が研究

「流木が腐敗して土質を劣化させる」
帯広工業高校の生徒が、流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

十勝川中流部の河川敷で、流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。生徒たちは、流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

調査の結果、流木の腐敗による土質劣化が確認された。生徒たちは、調査の結果を報告している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

効率的腐敗で「栄養」に

流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。生徒たちは、流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

流木土に返せ

流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。生徒たちは、流木の腐敗による土質劣化を調査している。調査は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

2017年(平成29年)6月17日(土曜日) 十勝毎日新聞

豪雨時の避難法学ぶ 防災担当者講師に授業



帯広工業高校の生徒が、豪雨時の避難法を学ぶ授業を受けた。講師は、防災担当者の先生だ。授業は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

豪雨時の避難法を学ぶ授業を受けた。講師は、防災担当者の先生だ。授業は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

豪雨時の避難法を学ぶ授業を受けた。講師は、防災担当者の先生だ。授業は、十勝川中流部の河川敷で行われている。

河川敷に種まき

帯広工業高校の生徒が、河川敷に種まきを行った。種まきは、十勝川中流部の河川敷で行われている。

河川敷に種まきを行った。種まきは、十勝川中流部の河川敷で行われている。生徒たちは、種まきの作業を行った。種まきは、十勝川中流部の河川敷で行われている。



河川敷の草地復元へ種をまく帯広工業高生

新聞報道 3 「帯広農業高校関連」

台風の影響で変化 湿地の生物を調査

帯農高生

帯広農業高校（二木浩志校長）農業土木工学科の生徒が7月22日、十勝川相生中島地区の湿地で生物調査を行った。

帯広河川事務所主催。今

年度は初めての実施で、1〜3年生の有志24人が参加した。

十勝川中流部の川づくりは市民協働の取り組みで、同校は5年前から関わっている。この日は、のり面や昨夏の台風時に堆積した土砂上に生育したヤナギと魚類の調査が行われた。

台風の影響で同所の環境

湿地に生育したヤナギの大きさを調べる生徒



は大きく変化。同校は生態系の変化をデータとして今年度は2回収集する。

ヤナギの生育調査では生えている種類や大きさを調べ、山岸祐貴さん（2年）

は「調査に参加するのは3回目。昨秋はほとんど生えていなかったヤナギがすごく成長していて、自然の力を実感した」と話した。

（松田亜弓）

